

DATA ANALYSIS CENTER FOR GEOMAGNETISM AND SPACE MAGNETISM
operating WORLD DATA CENTER C2 FOR GEOMAGNETISM

1. 準リアルタイム磁場観測データのネットワークによるオンラインサービスの開始

信楽MUレーダー観測所（京都大学超高層電波研究センター）敷地内に設置したフラックスゲート磁力計のデータを、UNIXネットワークを通して、利用者のテクトロモード端末にプロットするサービスを実験的に開始しました。利用を希望される方は、当センターまでご連絡下さい。（詳細は裏面参照）

2. AE指数の算出と配布

1986年後半（7月-12月）の1分値AE指数（AE, AL, AO, AU）を算出し、国立極地研究所と共同で、出版および必要機関への配布をおこないました。

3. オンラインデータベースの更新

京都大学大型計算機センターに構築し、公開しておりますリレーショナル型データベース‘GEOMAG’のテーブルSTAT（観測所情報）及びSDT（データ収集状況）を更新しました。また、データベースSTPのテーブルIMFP（太陽風パラメータ）は、1990年9月3日までの分を追加しました。利用方法につきましては、『地磁気・太陽地球系物理学データベース利用の手引き』（残部まだ多少あり）を参照してください。

4. 新着地磁気データ

前回ニュース（1991年5月20日発行）以降入手したデータの内、主なものは以下のとおりです。（観測所名の省略記号については、データカタログまたはデータベース‘GEOMAG’をご参照ください。）

(1) アナログデータ

ノーマルランマグネトグラム：

Leirvogur (April-May, 1991); Nurmijarvi (December, 1990 - May, 1991)

Sodankyla (January-March, 1991)

ラピッドランマグネトグラム：

Kanoya, Memambetsu (January-December, 1990)

観測所年報等：

French Observatories

(Bangui, Chambon-la Foret, Crozet, Durville, M' Bour, Martin de Vivies,

Papeete, Port Aux Francais -- 1987; Bangui, Papeete -- 1989)

College (March-May, 1991); Kiruna (January-September, 1990)

(2) デジタルデータ

地磁気1秒値：

Kakioka (April-May, 1991)

地磁気1分値：

Kakioka, Kanoya, Memambetsu, Luning, Leirvogur, Valentia (April-May, 1991);

Bangui, Papeete (January-December, 1989)

地磁気1時間値：

AMS(1981-89); CZT(1974-89); PAF(1957-89); DRV(1957-89); PPT(1989); BNG(1983)

(裏面につづく)

信楽磁場観測モニター画面のネットワークによるサービスの概要

1. 内容

信楽M Uレーダー観測所（京都大学超高層電波研究センター）敷地内に設置したフラックスゲート磁力計から、ネットワーク(KUINS)により1時間毎に転送されてきた磁場観測データ（30秒値）を、利用者のテクトロモード端末にプロットする。（図1、2参照）

2. 利用方法

- (1) 利用者のテクトロモード端末からSTEPネットワーク等のUNIX(TCP/IP)ネットワークを用いて、地磁気センターのミニコン(swdcku, 130.54.52.254, guest4)にログインする。（パスワードが必要）
- (2) 画面の表示にしたがって、見たい期間を入力する。（原則として少なくとも過去1ヶ月以内のデータは利用できる予定。）

3. 備考

- (1) 観測値の相対誤差は、2-3%以内と推定される。
- (2) 各成分絶対値の較正は行われていないので、現段階では観測値そのものの公開はしない。同じ理由により、図にベースラインの値を表示しない。
- (3) データファイルがコード付きで書かれているため、データの読み込みに多少時間がかかる。（3分程度）
- (4) 通常のXウィンドウ（テクトロモード）だとかなり細かいところまで見える。PC9801のテクトロエミュレータでは、2-3nTかつ2-3分の解像度。
- (5) 信楽からのデータ転送は、毎時30分に開始する。
- (6) 列車運行時間帯(05-24時)には鉄道線路からの漏洩電流により、peak-to-peakで2-3nTのノイズがある。

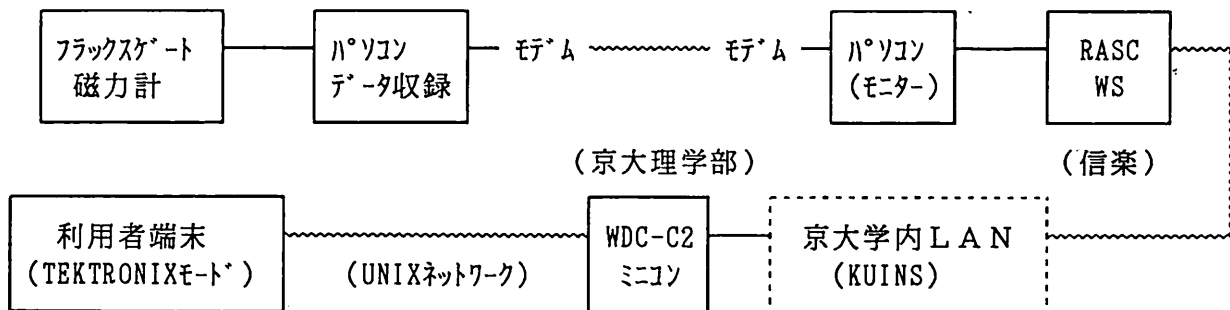


図1 信楽からのデータの流れ

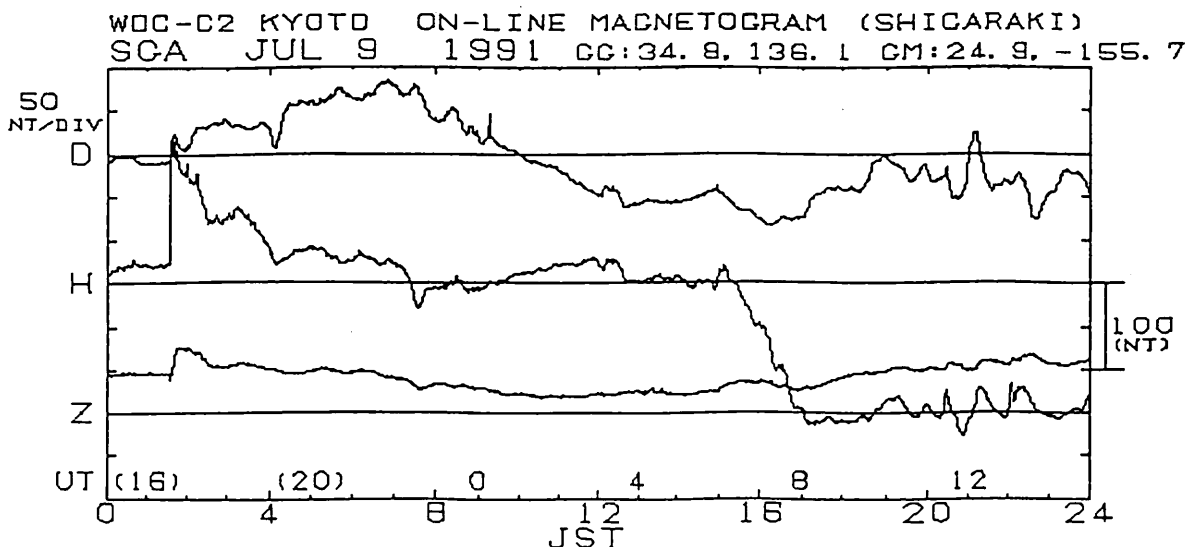


図2 出力例 (PC9801画面のハードコピー)